

予防接種の接種間隔

ワクチンを接種してから、次のワクチンを接種する間隔は、その効果や安全性のため、ワクチンの種類によって決まっています。

①同じ種類のワクチンを複数回接種する場合

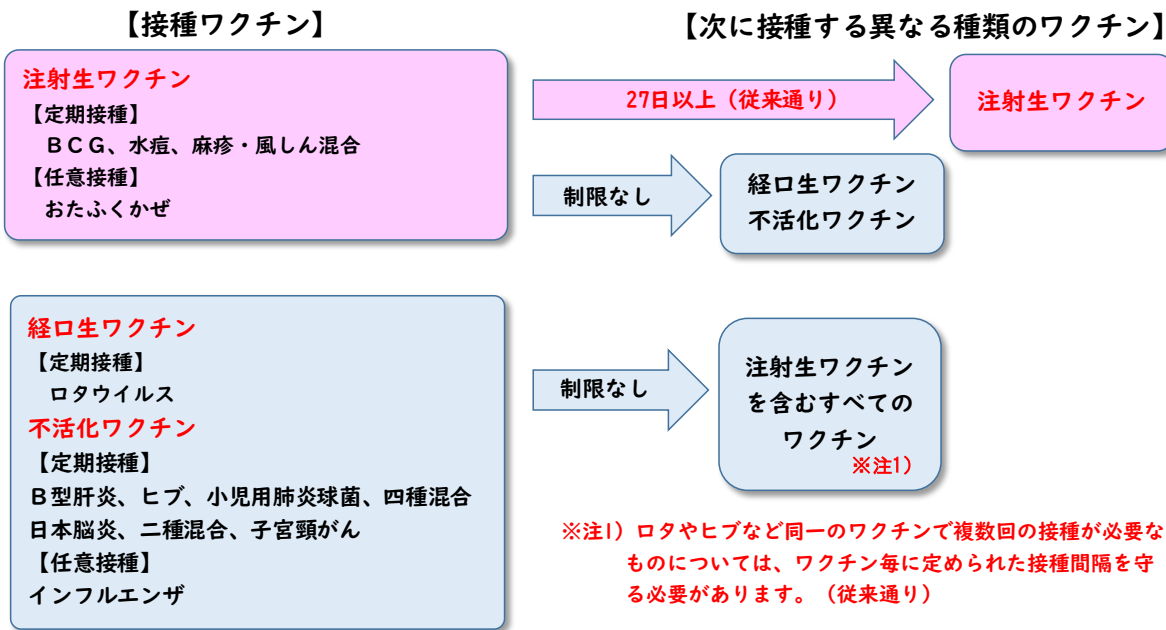
- ・ワクチンの種類によりそれぞれ定められた間隔があります。（※詳細はそれぞれのワクチン説明参照）

②異なった種類のワクチンを接種する場合

- ・異なった種類の**注射・生ワクチン**の間隔は、接種した翌日から起算して**27日以上**あけます。

※同時に複数の種類のワクチンを接種する場合…一度の受診機会に異なった種類の複数のワクチンを接種することを『同時接種』といい、医師が特に必要と認めた場合は、同時接種を行うことができます。方法としては複数のワクチンを別々の注射器で異なる部位に接種します。かかりつけ医とご相談のうえ接種してください。

令和2年10月1日以降の異なるワクチンの接種間隔について



27日以上あけるとは？

月	火	水	木	金	土	日
4/30	5/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	6/1	6/2	6/3

【例】
 MRワクチンを5/2（水）に接種し、次に水痘ワクチンを接種予定。



5/30（水）以降の接種が可能。
 （4週後の同じ曜日以降）

【注意】 令和2年10月1日以降は予防接種法の改正により、次に異なる種類のワクチンを接種する際、注射の生ワクチン同士以外は間隔の制限がなくなりました。ただし、同じ種類のワクチン同士の間隔に関しては変更されていませんので、ご注意ください。